

広報

# のほろべつ

主な内容

- カルス温泉と上登別に 2大プロジェクト  
進行中……………2P
- こんにちは 市役所ですー福祉事務所…3P
- 見直そう 登別の郷土芸能……………4・5P
- 市民憲章推進会議にご参加ください…7P

● No. 410 ● 昭和60年 2月 1日 発行 ● 発行/北海道登別市 ● 編集/総務部公聴広報課 ● 印刷/大洋印刷



## 猛ふぶきの中で果敢にダッシュ

### 日本空手協会登別支部・道場鏡開き

1月13日(日)、登別青少年会館では日本空手協会登別支部の道場開きが行われ、小学生から高校生、それに女性を含めた約60人が参加しました。

午前10時、館内での形の披露後、猛吹きの外へさっそうと飛び出し労働福祉センターまでのランニングコースをひた走りました。

途中、浜辺での恒例浜げいこでは、真冬の波につかりながらも「突き!」の気合で寒さを吹き飛ばす勇猛さ。また、刈田神社での奉納の際には、神主さんから一人ひとりにお守をもらい、労働福祉センターに無事到着。

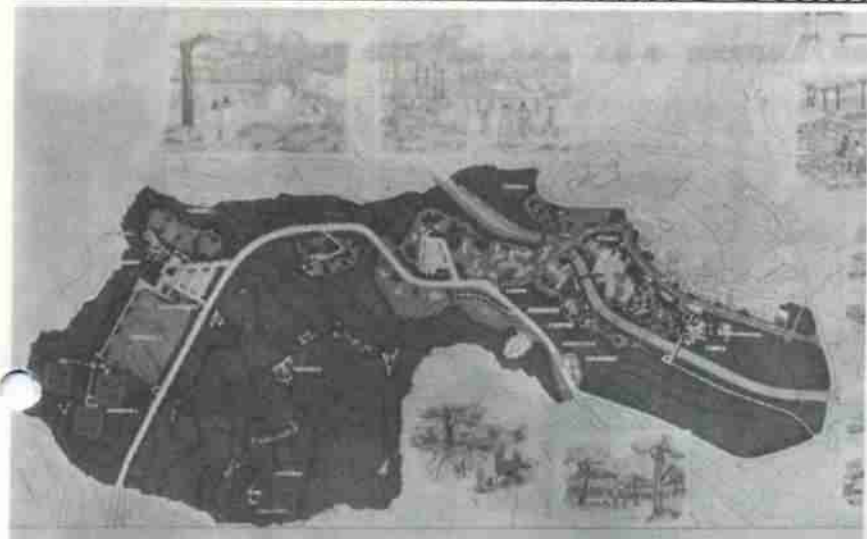
センターで待っていた父母らとさっそくもちつきを行い、つくたてのもちで作ったおしるこに舌鼓を打ちました。

約2時間の練習行程では終始素足の子供もいましたが、最後までがんばったという充実した気持ちは何ものにもかえがたいものではないでしょうか。

2. '85  
1



# カルルス温泉と上登別に 2大プロジェクト進行中



カルルス温泉と上登別に2大プロジェクト進行中

昭和59年4月1日付で市の機構の中に設置された地域開発本部では、大学などの高度教育機関の誘致や、企業誘致、地熱開発、地域開発の促進に専門的に取り組んでいます。

大学等誘致関係では昨年11月明星大学の誘致を成功させました。

この内容については「広報のぼりべつ」12月1日号で詳しくお知らせしています。

今号では、同本部で進めている「カルルス温泉地区野外レクリエーション施設等計画」と「新登別地区観光開発計画」の概要をお知らせします。

## カルルス温泉地域を 一大温泉公園に

カルルス温泉は、昭和三十三年に全国で十二番目の国民保養温泉に指定されています。さらに全道老人クラブ連合会の指定を受けるなど、保健保養温泉としての性格が強く、中高年層の利用が主体となっています。

カルルス温泉の宿泊施設は、国民宿舎オロフレ荘をはじめ六軒ですが、その宿泊状況は三十八パーセントと経営は非常に厳しい状況にあります。

将来温泉地の需要は保養温泉型、スポーツレクリエーション型が増大するといわれています。現在計画を進めている「カルルス温泉地域総合整備（温泉公園及び野外レクリエーション施設）事業」は、これに対応するためカルルスの良好な自然景観と地型的条件を最大限に生かした整備を行うものです。

計画は二地区に分かれ、最初に着手するのはカルルス小学校跡地周辺の整備事業です。

カルルス小学校は、昭和五十七年三月に廃校以来、その跡地利用についていろいろ計画を検討してきました。このたびは雇用促進事業団によってカルルス温泉への宿泊客や日帰り客を対象とした野外レジャーゾーンとして整備を進めることになったものです。

計画年度は昭和六十年年度から昭和六十一年年度の二カ年間で、計画区域は約四万平方メートルです。主な事業は、センターハウス（管理室、休憩室、研修談話室、トイレ）の建設やテニスコート、ゲートボールコート、ソフトボール場、多目的広場、駐車場などの整備となっています。

事業費は約一億五千万円ですが、大部分は国の費用で行なわれます。

カルルス小学校跡地周辺整備事業が終了後、引き続き「カルルス温泉既存市街地周辺整備事業」も行なわれます。

これは地域に点在する旅館を中心に道路の整備（ロードヒーティング、歩道、散策道）や露天風呂、植物園（アヤメ等）、淡水魚の小川、街路灯、飲泉場、駐車場、森林浴、花木植樹などを行ない、地区全体を公園化し、お湯と清流と緑のゆとりあるゾーンとするものです。

事業を行なうのは市ですが北海道、環境庁も一部加わります。事業費などについては現在調査検討しています。

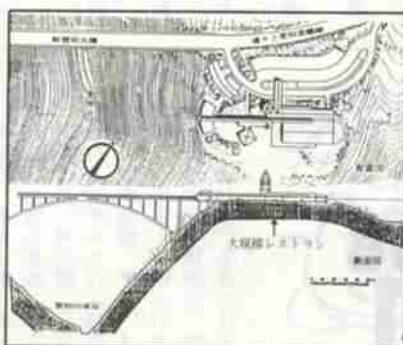
これらの事業が完成するとカルルス温泉地域全体が「温泉公園」となり、整備したそれぞれの施設にあわせていろいろイベントを組むなどして、カルルス温泉への誘客をはかることにしています。

## 新登別大橋周辺に 新登別パーク構想

登別市は道央観光圏の中心的立場にあって、道内はもとより全国的にみても有数の観光地として名声を博しています。自然的条件も温泉をはじめ山、湖、海、更らには広大な牧野など観光地としての素材に恵まれた地域です。

一方観光地発展の重要な要因となる交通体系についても恵まれていますが、これを一層飛躍的なものにするのが、昭和六十年から昭和六十三年にかけての「高速自動車道インターチェンジ」「新登別大橋」「オロフレトンネル」などの完成開通です。

特に新登別大橋は、千歳川沿いの深い渓谷をひとまたぎにする全長二百四十四メートルの橋で、室蘭や中央地区と登別温泉を結ぶ最短路線です。谷底までの深さは百十メートルで北海道一。昭和六十一年秋の開通の予定で、将来の観光資源として期待されています。



この計画に必要な投資額は約八億四千万円で、実際に事業を行うのは東京の弘信グループという民間企業です。

市では今後もうこうした民間活力を導入して側面から協力し、新しい観光資源の開発を強力に進めることにしています。

新登別パーク構想は、この新登別大橋の開通にあわせて周辺の観光開発を計画しているものです。

第一次計画では、同大橋と広大な自然の渓谷を一望のもとに見わたせる大規模なレストランを建設することになっ



# わだいの 話題 わだいの 話題 わだいの 話題 わだいの 話題



## 秘伝の味をどうぞ 第八回つけものコンクール

わが家の味を競おう—と恒例の「つけものコンクール」が、一月二十一日市民会館で開かれました。

この催しは、古くから伝わるつけもの技術を次世代に受け継ぎ、市民の交流を深めるため各家庭独自のつけものを持ち寄り、意見などを交換するもので八年前から続けられています。

今年も、かずづけ、ぬかづけ、かすみそ、魚づけ、いずし、アイディアの六部門に過去最高の七十七人から百四十八点が出品され自慢作を競い合いました。

審査後は出品者や一般市民など約二百人が試食し、つけもの談議に花をさかせていました。

来年は皆さんのご家庭の秘伝の味も出品してみたいかがでしょうか。

## 力をこめてロイヤリティ

### のぞみ園もちつき会

一月十三日(日)、肢不自由児施設ののぞみ園では、毎年恒例となったもちつき会が行われました。

外はあいにくの猛ふぶきでしたが、暖かくした室内で園児をはじめ父母、市長、施設関係者ら約四十名が午前十一時からさ

つそくもちつき。約十キロのもち米を「よいしょ、よいしょ」のかけ声でつきはじめ、つき終わったらでんぶんをまぶした中央のテーブルへ。

テーブル上では、みんなの手がのびて一せいにあんこもちやのしもち作りを始めました。

しかし、作ってはすぐに口に運んでしまう一幕や園児がキネに振り回されるなど愉快な場面もあり、もちつきは終始なごやかな雰囲気の中で行われました。

また、施設の隣りには今春オーブン予定の鉄南ふれあいセンターが外観もほぼ完成し、園児、父母の期待がよせられています。

また、施設の隣りには今春オーブン予定の鉄南ふれあいセンターが外観もほぼ完成し、園児、父母の期待がよせられています。



## 希望に燃え集立ち

### 登別市成人式

小雪がちらつく一月十五日、登別市成人式が市民会館を会場に開催されました。

この日、新成人として集立ったのは九百三十七人。式にはその六十・六%にあたる五百六十八人が出席しました。

一時からの式典では、

坂本光博さんが市民憲章を朗読。中浜市長が「二十一世紀の創造に向けてたゆまざる努力をしてください」と式辞をのべ、

来賓の高田道義、室市議会議長がお祝いの言葉を贈りました。これに対し新成人を代表して川合美樹さんが「郷土登別市発

展のため努力します」と誓いの言葉をのべました。

新成人は三十九年から四十年春にかけて生まれた若者の皆さんです。そして十数年後、働き盛りの三十歳代後半入りのこの新世紀を迎えます。

二十一世紀の担い手として新しい門出に立つ皆さんの群像に惜しみなく「おめでとう」の言葉を贈りたいと思います。

各部門ごとに並んだつけものを市内の調理士さんら一部門二人の審査員が、一品一品慎重に味わって採点をし入賞者を選びました。

審査後は出品者や一般市民など約二百人が試食し、つけもの談議に花をさかせていました。

来年は皆さんのご家庭の秘伝の味も出品してみたいかがでしょうか。

来年は皆さんのご家庭の秘伝の味も出品してみたいかがでしょうか。



福祉事務所は、社会福祉行政を最も効果的に運営するために設けられた社会福祉行政の中心的な第一線の現業機関です。

庶務係と保護係の二係からなり、所長以下十三名の職員で業務を担当しています。職場は一階の六番窓口です。

老人福祉法や精神薄弱者福祉法、身体障害者福祉法に定める援護、育成または更生の措置に關することと生活保護に關することを担当しています。

## こゝには 市役所です ⑧

### —福祉事務所—

身体に障害のある方に交付する身体障害者手帳の交付事務などを担当しています。手帳の対象となる障害は、視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、音声言語機能障害、肢体不自由、内臓機能障害で、その程度によって一級から六級に区分されています。

身体に障害のある方が手術などによって障害の程度を軽減したり、取り除いたり、その進行を防ぐことが可能な場合、指定医療機関で医療の給付を受けることができます。更生医療の事務もこの係の仕事です。対象となる方は、十八歳以上で身体障害者手帳を所持している方。心臓機能障害の方は手術とそれに伴う医療に限られます。また、腎臓機能障害の方は、透析とそれに伴う医療に限られます。

身体障害者手帳を所持する方で、補装具を必要と認められる方は必要に応じて、障害を補う補装具の交付、修理を受けることができます。これらの事務もこの係の担当です。心当りの方はお気軽にご相談ください。

老人福祉の関係では、六十五歳以上の方で身体上、精神上、環境上の理由や経済的な理由によって居宅で養護を受けることができない方を程度に応じ、養護老人ホームや特別養護老人ホームに収容する仕事をしています。

身体に障害のある方に交付する身体障害者手帳の交付事務などを担当しています。手帳の対象となる障害は、視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、音声言語機能障害、肢体不自由、内臓機能障害で、その程度によって一級から六級に区分されています。

身体に障害のある方が手術などによって障害の程度を軽減したり、取り除いたり、その進行を防ぐことが可能な場合、指定医療機関で医療の給付を受けることができます。更生医療の事務もこの係の仕事です。対象となる方は、十八歳以上で身体障害者手帳を所持している方。心臓機能障害の方は手術とそれに伴う医療に限られます。また、腎臓機能障害の方は、透析とそれに伴う医療に限られます。

身体に障害のある方に交付する身体障害者手帳の交付事務などを担当しています。手帳の対象となる障害は、視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、音声言語機能障害、肢体不自由、内臓機能障害で、その程度によって一級から六級に区分されています。



### 勇壮な 鉦山獅子舞

この獅子舞は、大正初期幌別鉦山で働く人たちの安全と平和を祈って鉦山神社に奉納されたのがはじまりとされています。宮城県出身者が、故郷の舞を基本に振り付けたヤマの男らしく勇壮で激しい動き。あらずじは、悪魔の権化となつた獅子と神縁を持った男との出合いから始ま

り、男が荒れ狂う獅子を制する姿を演じたもので、急速に発展した鉦山も、昭和二十七年に閉山になり、町も過疎化が進むなか、昭和四十三年に保存会が結成されました。保存会の八重樫会長談「当時二十六人いた会員も年々減り、このままでは解散してしまふ。なんとか保存活動を続けていきたいと思ひ、昨年市や文化協会に後継者の働きかけを行いました。その結果、幌別西小・青葉小学校の学校芸能として受け入れられ子どもたちの手によつ



て伝承されることになりホツトしています。」

### ユウモラスな 熊舞

熊舞は、登別観光協会や登別郷土芸能保存会から「新しい郷土芸能を」と依頼を受けた室蘭市内に住む舞踊家花柳衛信さんの手で、昭和五十六年に創作されたものです。舞いは、今から数百年前、狩人が初めて登別温泉に足を踏み入れた際、山中で熊と出会いその熊の道案内で地獄谷を発見したという伝説に基づき、人と熊との係わりあいをユウモラスな舞いで表現。お湯への感謝と千客万来を祈願したものです。保存会の工藤副会長



談「この熊舞の歴史は浅いし伝統もないが、自由にアドリブが付き、お客さんとコミュニケーションを図れる郷土芸能です。毎日、猛練習をしてマスターしました。また、五十八年から温泉中学校でも、学校芸能として全校生徒が取り組んでいるので、輪が広がり、将来、地域に定着した郷土芸能に育つことと思ひます。」

# 土芸能

保存会活動を続けていくには、後継者が多様な問題や悩みをかかえています。「個性豊かなたくましい人づくり」を進展として、各学校と連携を図り郷土芸能を注いでいます。郷土を愛する心を養い、郷土芸能に対する大切ではないでしょうか。郷土芸能を紹介するとともに、郷土芸能の方がたに現状を聞いてみました。



代表曲も、北海の母なる川、石狩川をテーマにした「北海流れ打ち」、郷土色豊かな「いでゆ太鼓」など数曲。大場さん談「今後、メンバーの新陳代謝をどう図るかがグループの課題です。また、温泉小学校の子どもによる少女北海太鼓に継ぐ少年北海太鼓を作りたいと考えていますので、市民の方の協力がほしいです。」

### ダイナミックな 北海道 太鼓

この太鼓は、伝統芸能のない登別温泉に新しい郷土芸能を創ろうと模索していたところ、昭和三十年大

場一刀さんにより創作され、グループが結成されました。福井県の奥越太鼓を基調に北海の荒波、地獄谷の壮絶な

光景をアレンジし、北海道の厳しい風土と若い息吹を太鼓で表現したものです。ダイナミックなリズム、軽妙なアクションを織り混ぜる屈強な若者による演奏は、聞く人、見る人を魅了しています。

### 素朴な 札内神楽獅子

この神楽獅子は、明治三十年札内町に入植した香川県出身の人たちが、五穀豊饒と地鎮の願いをこめて、札内神社や刈田神社に奉納したのがはじまりとされています。獅子舞、踊り子、裏太鼓、鐘で編成され、獅子頭を低く押え緩急自在の激しい動作に特色があります。

しかし、札内地区の開拓は非常に厳しく離農者が続出。伝承活動も、後継者難から幾度も中断を余儀なくされてきました。昭和五十六年、札内小・中学校からの働きかけで、子どもたちによって受け継がれることになり保存会が結成されました。保存会の杉本会長談「開拓当時の道具が何一つなく、苦労しました。しかし、復活される喜びがみんなの協力につながり全てそろいました。子どもたちも、生き生きと練習に取り組んでくれるし、



将来は、郷里香川県との交流もしたいと思っています。」



# 子宝もちつき舞

このもちつき舞は、北海道の有名な郷土芸能「江差もちつきばやし」を基に、登別郷土芸能保存会のメンバーが振りつけをしたものです。



昭和五十五年の第十回登別湯まつりに誕生しました。太鼓や笛などの鳴り物による軽快なリズムに合わせてハッピ姿の若者が威勢よくもちをつく。そこに、おかめとひよつとこが現われ、仲良く子宝湯に入るといふコミカルな芸。登別温泉の名湯「子宝湯」にちなんで、子宝に恵まれ、夫婦円満、無病息災を祈願したものです。

保存会の飯島副会長談「この舞いは、仲間との呼吸を合わせるのが大切なんです。そのため練習をと考えていますが、メンバーがそれぞれ忙しくそろわないのが悩みです。また、会員を増やし、内容の充実も図りたいと思っています」

# 重厚な 鷺別獅子舞

この獅子舞は、昭和五十年鷺別神社が、四十年ぶりに改築されたのを機に誕生したものです。氏子が、中心町にも伝承芸能を」との呼びかけに、名乗りを上げた宮城県出身の草岡久夫さんを師匠とし、昭和五十一年保存会が結成され、その後、伝承活

動が続けられています。獅子舞の由来は、平安時代宮城県にある白山の神を信ずる人たちが、獅子頭を持ち各部落を訪れ悪魔退治、家族の安泰、五穀豊饒を願って回ったのがはじまり。動きは意外とゆっくりではあるが重厚さを感じさせる舞いでもあります。

二代目の師匠でもある保存会の植村会長談「出来るだけ忠実に基本を守るよう心掛け指導をしています。また、多くの子どもたちに伝承し、地域に根ざし



た愛される獅子舞にしたいと考えています」

## 見なおそう

# 登別の郷

登別市の歴史は、明治2年開拓の斧をふるった片倉家や、その後各地に入植した人々によって創られ、今日の発展をみるに至っています。

当時は、厳しい気候風土に加え人々の生活は苦しく、血のにじむような開拓の道であったと思います。その生活の中から、生まれ育まれた郷土芸能。また、地域の特色を生かし創作した新しい郷土芸能を、後世に伝承しようと保存会を作り取り組んでいる人たちがいます。

しかし、いないなど市では「める教育の能の保存に私たちが理解を深今では能を支えて

# ユニークな 湯鬼神かくら

このかくらは、昭和四十八年登別温泉の「湯まつり」を契機にして、地元二十代の若者が十五名集い、温泉の新たな魅力づくりについて激論を戦わせた末、創作された郷土芸能です。

昔、登別温泉の名所「地獄谷」から鬼が出たという伝説に基づき、おかめとひ

よつとこが、夫婦和合を願ってユモラスな踊りを見せ、地獄谷の「守神」赤鬼、青鬼が、旅人の安全を願うという舞いです。

有志による保存活動も、登別観光協会のバックアップのもと、昭和五十六年登別郷土芸能保存会が発足しました。

創作者の一人でもあり、保存会の君島会長談「すべてゼロからの出発でした。振りも鳴り物も自分たちで創り出すのに苦労しました。しかし、若者たちが一緒に汗を流すこ



とによって、街づくりの原動力になっていると思います」

# 駒おどり

この駒おどりは、幌別開拓発祥の地である幌別第一町内会に住む前川敏雄さんが、宮城県などに伝わる駒おどりを基に創作したものです。先祖の苦勞に感謝し、人と人との心のつながりを



大切にしたいという気持ちから、同町内の子ども会を中心に昭和三十八年、保存会が結成されました。

駒の演じ手やおはやし、陣笠に羽織、はかまのいでたちで舞いおどり、原野を疾走する馬と子どもとの交流を描いています。

子どももの減少から五十二年以降、活動は休止状態でした。しかし、昨年幌別東小学校の協力と、多くの人の力添いで鉄南地区の郷土芸能として、新保存会が出来て再出発しました。

創作者でもあり、保存会顧問の前川さん談「本当によかった。これからも温かく見守り育てていきたいと思っています」

大切にしたいという気持ちから、同町内の子ども会を中心に昭和三十八年、保存会が結成されました。



ふれあひ  
広場

# 明日の選手を 育てます

中田 勲さん  
(新生町)

「たった一分程度の試合のために朝五時から起きだし、車で遠征するんですから、やはり親の理解がなければできないスポーツではないでしょうか」  
税理士の仕事柄、今が一番の繁忙期にあたる中田さんは、強化部長をしているスキートの登別ジュニアレーシングクラブについてこう語ってくれました。  
「小学生から中学生まで、選手になりたいというやる気のある子だけを集めて行っています。現在、

約六十名いますが、一人でも二人でも大きな選手がこの登別から育つて欲しいと思っています」  
トニーザイラーの魅力に引かれて競技スキーに取り組み始めたという中田さん、二歳からスキーをはき、現在に至るまでの経験を子供たちに注いでいらつしやいます。なぞ携わっているかの問いに「過去に打ち込んだものは人生の糧となって引き続いてきます。このことは子供たちにとつてとても大切なことだと思っています」とのお答え。さぞかし練習がきびしかろうと思いましたが、長時間の練習はケガにつながるため、短時間で内容の濃いものを選ぶそうです。

▼ふれあひ広場は身近な出来事、話題を取り上げ紹介する企画です。情報を公聴広報課へ(☎⑤2111内線222)



# 街かどで 小平岸橋・新川町

「おいで、おいで」の声をかけると寄ってくる白鳥。ここは、幌別川にかかる小平岸橋のもと、十数羽の白鳥とカモメでなかなか賑やかです。



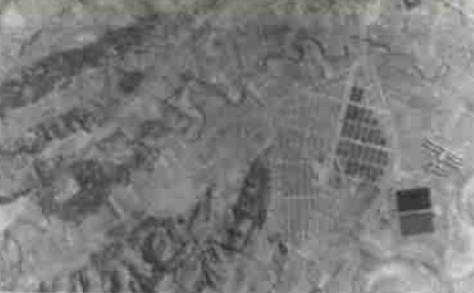
このコーナーに皆さんの写真をお寄せください

# 郷土史探訪

99

## 金比羅宮の絵馬から 登別市の開拓を訪ねてⅡ

「金比羅宮に納入した明治十六年の幌別郡開墾の絵馬が、国指定の重要文化財に指定されているので、登別への里帰りには許されたいようです」と市史編纂の大西室長からお話を聞いたのは最近のこと。考えてみると、二メートル余りに及ぶ開拓の絵馬は全国でも珍らしく、開拓者の姿が生きて描かれていたのも将来の夢と期待をよせたものでしょう。移住、開拓、しかし、それは当時の人達には命がけの事でした。



昭和20年、幌別川付近の写真

その岩倉浜治氏は登別村ランボウツケへ、そして明治二十八年湯の滝(登別温泉)の将来を見越して湯宿を経営し登別温泉開祖の先軀を果しています。絵馬に記入された開拓者にも、「朝北の地に生きたドラマ」という事なる表面的言葉で解されない苦勞があったことでしょう。登別市郷土文化研究会 宮武 伸一記

移住は同郷の場合、先発移民を頼り移住しますが、土地の割当を受けられず草を刈り、手の掌を合わせた「合掌小屋」「おがみ小屋」を作り住みました。夜はオオカミ、山犬の遠吠におののき、隣家も見えず樹木に埋まった掘立小屋で望郷の念を一層かりたてたことでしょう。また開拓者の苦勞は土地の条件で左右され、地形・草木の状態・地味・飲料水・気候など、この点札内の開拓者は明治期から苦勞の連続でした。

土地の選定は未開の大樹林ですから春の融雪期は見通しがつき、土壌の良悪も草木の種類、生育状況とみると分ります。樹が長く伸びていると地味は良く、太いだけで背丈の短いのは壤土が浅く砂礫層、また、樹が密生して幹が細いのは瘦地です。

開墾地を選び、住む小屋を作り、樹林も切り開いたものの整地までは程遠く、最初は畝で地面を浅くおこす「割りおこし」でソバやエシバク、ナタネなどをばらまきしたり、「筋おこし」「坪おこし」といった種子をまく部分だけおこし、キビ、アワ、大豆、カボチャ、

開墾地を選び、住む小屋を作り、樹林も切り開いたものの整地までは程遠く、最初は畝で地面を浅くおこす「割りおこし」でソバやエシバク、ナタネなどをばらまきしたり、「筋おこし」「坪おこし」といった種子をまく部分だけおこし、キビ、アワ、大豆、カボチャ、

開墾地を選び、住む小屋を作り、樹林も切り開いたものの整地までは程遠く、最初は畝で地面を浅くおこす「割りおこし」でソバやエシバク、ナタネなどをばらまきしたり、「筋おこし」「坪おこし」といった種子をまく部分だけおこし、キビ、アワ、大豆、カボチャ、

これは、いずれも後日、除草の時に周囲を耕作するという急ぎ方で、厳しい冬を生き抜くための秋の収穫は、大切な食料を少しでも多く保存することから真剣でした。開墾した土地は二、三年目から畑らしくなりますが、開拓者の苦勞は多く、ヒエ、アワ、麦に米を混ぜて炊くカテ飯すら食べられず、野草や木の葉、川魚などを手当り次第に保存食としました。

また、家の中は一棟で一室、室内の半分は土の上に野草を敷き、その上にむしろを敷くといったもので、病人が出た場合など、隣の家は遠く離れ、医師や病院は考えようもないことでした。「讃岐移民団北海道開拓資料」には当時の北海道移住者の状況が掲載されていますが、明治二十四年、幌別村トシケンに一時入植した岩倉浜治氏が故郷の知人に送った手紙を現代文で紹介すると、「時折折柄御案内様ご無事でしようか、私出立の折の御心配本当に有難く存じます。私この度幌別より三里山奥へ行き鉄道用材を受取り三月二十九日より四月八日まで二十円も上げ、飯料を払い、取前金十七円ハルが三円その他合わせて二十二円残り幸せに思っておりますのでどうぞ御安心下さい」



## 市民憲章推進会議に ご参加ください

市民憲章は明るく豊かな地域づくり、人づくりを目的に、皆さんのご理解とご協力で十七年目を迎えるようとしています。

今年は、「憲章で結ぶあしたのひとまち」をテーマに皆さんの活発な意見交換を期待しています。お気軽にご参加ください。

▽日時 2月10日(日) 午前10時から  
▽場所 市民会館

## ご参加ください

▽分科会 第1分科会：あいさつ運動の推進について、第2分科会：環境美化運動の推進について、第3分科会：青少年の健全育成について

## NHK・きよの料理

### 市民会館で実演会

テレビなどでおなじみのNHK出演講師・森山サチ子先生の料理を守って、事故のない安全な毎日を送りましょう。

▽日時 2月1日(日)10時～午後9時  
▽場所 市民会館・一階廊下

## 登別市長杯 争奪民謡大会

文化協会民謡連合会では、第十回登別市長杯争奪民謡大会を次のとおり開催します。多数ご来場ください。

▽日時 2月24日(日)開場：午前10時30分、開演：午前11時30分

▽場所 市民会館  
▽入場料 前売券：800円、当日券：千円

▽特別出演 第1回から9回までの優勝者と全道民謡大会優勝者の細野由美子さん

※前売券などお問い合わせは、斉藤正さん(TEL③1825)または岩倉誠一さん(TEL⑤8147)へ。

## 市民会館で

### 交通事故パネル展

一向に減少しない交通事故の撲滅を願い、次のとおり「交通事故パネル展」を行います。ドライブの方も歩行者の方も交通マナー

理教室「きよの料理」が開催されます。

入場は無料ですが、観覧希望の方は電話で申し込みください。

▽日時 2月23日/開場：午後2時、開演：午後2時30分、終演：午後4時30分

## 紙粘土を使って ひな人形作り教室

市教育委員会では、ひな祭りになんだ手作りひな人形教室を次のとおり開設します。お気軽におこしください。

▽日時 2月14、15、20、21、22日の合計5回/午前10時～正午まで

▽場所 鷺別公民館

▽講師 尾崎敏子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

▽申込受付日 2月5日から

▽講師 工藤恵子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

▽申込受付日 2月5日から

▽講師 工藤恵子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

▽申込先 市民会館(TEL⑧1100)

▽日時 2月15、20、22、27、3月1日/午後6時30分～8時30分

▽講師 野宮佳子さん

▽申込受付日 2月8日から

▽申込先 婦人センター(TEL③3511)

※なお、参加者は各自、着付用具一式(着物、長・唐襦袢、帯、帯揚げ、帯締め、裾除け、足袋、紐・3本以上、洗たくバサミ2個、筆記用具をご用意ください。

▽日時 2月10日まで

▽場所 婦人センター

▽定員 20名

▽材料費 色紙びなセット：850円、色紙掛650円(希望者のみ)

▽申込受付日 2月10日まで

▽申込先 婦人センター(TEL③3511)

▽日時 2月14、15、20、21、22日の合計5回/午前10時～正午まで

▽場所 鷺別公民館

▽講師 尾崎敏子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

▽申込受付日 2月5日から

▽講師 工藤恵子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

▽用意するもの 粘土板か厚紙(ダンボール紙)、めん棒、ハサミ、ビニール袋、オロナミンCの空びん2本、エプロン、絵筆

▽申込受付 2月5日から

▽申込・問合せ 市民会館(TEL⑧1100)

## 婦人センターでも ひな人形作り教室

市婦人センターでは、主婦の方を対象に、次のとおりおひなさま作り教室を開催します。

▽日時 2月15日(金) 午前10時～正午

▽場所 婦人センター

▽定員 20名

▽材料費 色紙びなセット：850円、色紙掛650円(希望者のみ)

▽申込受付日 2月10日まで

▽申込先 婦人センター(TEL③3511)

▽日時 2月14、15、20、21、22日の合計5回/午前10時～正午まで

▽場所 鷺別公民館

▽講師 尾崎敏子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

▽申込受付日 2月5日から

▽講師 工藤恵子さん

▽定員 20名

▽費用 教材費として千円

▽内容 雌・雄ひなの立ひな作り

## 塩分測定など 食生活展を開催

みんなが健康で豊かな毎日を過せようと、成人病予防月間に合わせて食生活展を開催します。当日は、保健婦、栄養士による健康相談、栄養指導のほか、みそ汁の塩分測定(100cc程度ご持参ください)も行いますので多数ご来場ください。

▽主催 登別市食生活改善協議会

▽内容 食生活に関するパネル展示、成人病予防の献立実例

▽日時 2月21、22日/午前10時～午後3時

▽場所 市民会館



## 上映映画が変更 親子名画劇場

二月十日にチェチェメ二男の冒険の予定していた親子名画劇場はフィルム都合で、次のとおり変更いたしました。

▽上映映画 母をたずねて三千里(アニメーション)他

▽日時 2月10日(日)1回目：午前10時30分から、2回目：午後1時30分から

▽場所 市民会館

▽入場料 無料

▽問合せ 市民会館(TEL⑧1100)



### 税の申告時期です

### 申告相談のご利用を

市では、三税(所得税・事業税・市道民税)の申告相談を次の日程で行いますのでお気軽にご利用ください。

申告が必要の方は、六十一年一月一日現在、登別市内に住んでいる次の方がたです。  
 ▽給与所得者(年金受給者を含む)で給与以外に所得のある方

▽給与所得者であっても勤務先から給与支払報告書の提出がなかった方、または五十九年中に退職された方  
 ▽その他、収入のある方(不動産・農業・漁業・利子・配当)  
 ※申告には、次のようなものが必要ですので、お早めにおいでください。  
 ▽給与所得者は、源泉徴収票が履歴書に添付されていること

▽事業・不動産・利子・配当の所得者はその収支を証する資料  
 ▽健康保険料、年金保険料、生命保険料および、医療費のある方はその領収書  
 ▽火災や盗難などにあつた方は、消防署または警察署の証明書  
 ▽印鑑(認印で結構です)  
 ※相談所開設の日程は表のとおりですが、課税課(本庁)窓口では随時申告相談を受け付けています。なお、三月十日以降は相当混雑しますので、お早めにおいでください。

### 申告受付日程

月	日	時間	場所	受付する税
2月	16日	9:30~12:00	旧中央公民館	市道民税
2月	18日	10:30~16:00	旧中央公民館	市道民税
2月	21日~23日	13:00~16:00	高浦寿光会館3階会議室	市道民税(漁業)税(所得)
2月	22日	9:30~16:00	登別観光会館3階第1会議室	市道民税(所得)
2月	25日~27日	10:00~16:00	市役所3階第1会議室	市道民税(所得)
2月	28日~3月1日	9:30~16:00	鷺別公民館	市道民税(所得)
3月	4日~6日	9:30~16:00	旧中央公民館	市道民税(所得)
3月	4日~5日	10:00~16:00	市役所	市道民税(所得)
3月	7日~8日	10:00~16:00	市役所	市道民税(所得)
3月	12日~13日	10:00~16:00	美園町ひまわり園	市道民税(所得)
3月	14日	10:00~16:00	鷺別公民館	市道民税(所得)

### 3カ月検診

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導  
 ▽日程・会場・対象地区  
 2月28日：鷺別公民館(鷺別地区)  
 3月1日：労働福祉センター(鏡別地区)

▽受付時間 正午~12時15分  
 ▽対象児 59年11月出生児  
 ▽用意するもの 母子健康手帳、バスタオル

### 乳がん検診

乳がんの症状で一番多いのはシコリですが、小さいうちは気づかなかつたり、シコリが良性のものかの判断がむずかしくつたりします。

市では、次のとおり乳がん検診

### ふれあう心の合言葉

一、親切をつくしきまりを守って、明るく住みよいまちをつくりましょう。

### 資格申請を受付

学校給食用  
食材料納入業者

▽受付 2月1日から  
 ▽資格期間 2年間(60~61年度分)

▽対象品目  
 ○野菜、精肉、麺、果物類等  
 ○調味料、練製品、冷食、添加物、

### なくそう路上駐車



のを建てるか、また新たに建設大臣の認定を受けてから建てるようにしてください。  
 ▽問合せ 胆振支庁建設指導課(TEL 0143-2219131)

### 懸賞作品を募集

メイトル条約の  
加盟百周年記念

日本計量協会では、計量器の適正な使用などを普及させるため、次のとおり標語とポスターを募集します。

▽応募資格 小学生の部、中学生の部、高校生、一般の部  
 ▽応募締切日 3月5日まで必着  
 ▽応募条件  
 ○標語：長短自由、ハガキ大の用紙一枚に一句  
 ○ポスター：B3判で5色以内、  
 「メイトル条約加盟百周年記念」と「毎年6月7日は計量記念日」の文字を必ず入れてください。  
 ▽入選の発表 6月中旬に新聞紙上で発表  
 ▽応募・問合せ先 商工課(TEL 52111内線257)

### ログハウスの建設について

丸太材などを使用して建てるあぜ倉造り丸太小屋(通称ログハウス)は特殊な構造方法ですので、建てる場所、用途、規模などに関係なく、建設大臣の認定を受けなければ建てる事ができません。  
 このことから、あぜ倉造りの丸太小屋を建てる計画のある方は、すでに建設大臣の認定を受けたま

※入選作については、通商産業大臣賞、日本計量協会賞が贈られます。

### 不用品ダイヤル市

⑤2111  
内線257

おわけします(売り)  
 シングルベット、ベビーベット、カラーテレビ(20インチ)、スキー靴(26cm)、スキー一式(スキー150cm、靴24.5cm)、フィギュアスケート(白)、石油ストーブ(温風式)ホームタンク(90ℓ)、オートバイ(50cc)、電子レンジ、ガス瞬間湯沸器

ゆずってください(買い)  
 二段ベット、ベビーカー、加湿器、スケート靴(ハーフ、スピード)、フィギュアスケート(ホッケー用)、エレクトーン、オルガン、石油ストーブ(持ち歩き用)、幼児用カーラック、石油風呂釜、冷蔵庫、アンマ器(イス式)、百科辞典(小学生用)

### 新着図書案内

市立図書館 TEL 54324



長英逃亡(吉村昭) 進歩がまだ希望であった頃(平川祐弘) 美女と犯罪(山田宏一) 昭和16年夏の敗戦(猪瀬直樹) 角栄、もういいかげんにせんかい(藤原弘達) 異国の星(井上靖) 石の座席(堀秀彦) 教育の根底にあるもの(林竹二) 海峡を越えたホームラン(関川夏央) 雑賀六字の城(津本陽) 大自然を旅する(野田知佑) 教育の理想(谷昌恒) アイヌの世界に生きる(茅辺かのう) 青函連絡船(金丸大作) アベベを覚えてますか(山田一廣) 気がつけば騎手の女房(吉永みち子) 幻のオホーツク共和国(畑山博) 燃える髪風にはためき(新井登美子) 鬼火の町(松本清張) 恋人たちの殺意(目下圭介) クレオパトラの黒い溜息(小峰元) ぼくらの世界(栗本薫) 室町抄(南條範夫) 瓦斯灯(連城三紀彦) トットチヤンネル(黒柳徹子) パーボン・ストリート(沢木耕太郎) どこへまことを照らすやら(林初枝) 極楽船の人びと(吉田知子) 書きたい女たちへ(田中喜美子) 欲望の破綻(江波戸哲夫) けもの道の四季(宮崎宇)